

ドライブ レコーダー

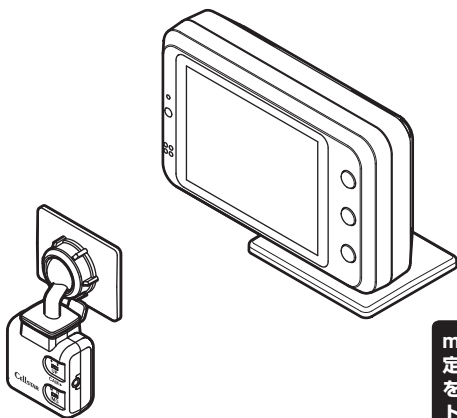
DRIVE RECORDER

TR-610

取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



microSDカードは
定期的（1週間に1回
を推奨）にフォーマット
してください。

Copyright © 2016 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。
microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
microSD Logoは登録商標です。
Exmarはソニー株式会社の登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

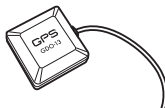
アフター
サービス

TR-610 をご購入のお客様へ

この度は、ドライブレコーダー TR-610をご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品はCSD-610FHRをベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の内容に差し替えてお読みください。また製品名の表記がCSD-610FHRとなりますが、ご了承ください。

【変更箇所】 取扱説明書 P15 付属品の変更

GPSユニット(GDO-13)が付属し、DCコードは、直結配線用コード(3極DCプラグ)タイプとなります。



□ GPSユニット (GDO-13)



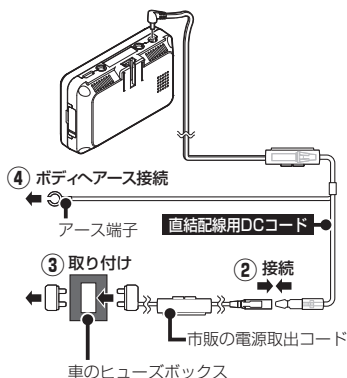
□ 直結配線用コード (3極DCプラグ)

本機の取り付け方法の補足

1 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

ヒューズボックスから電源を取る場合

取り付け車両に合った市販の電源取出コード(平型ヒューズタイプ)を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。



- ①ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- ②DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込みます。
- ④DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

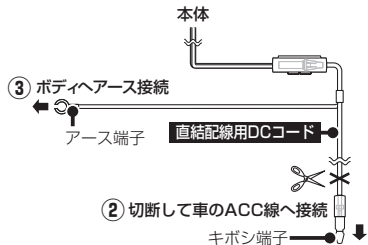
車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ(タッピングネジなど)
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)する金属部分

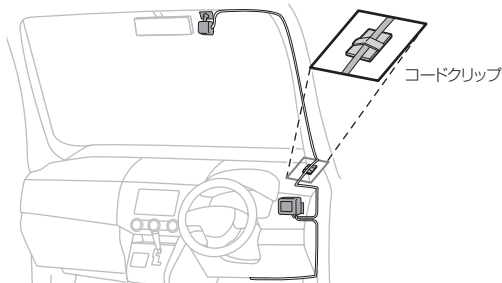
ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ります。



- ①テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに24V、オフにしたときに0VになるACC線を探します。
- ②DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

DCコードは、運転の妨げにならないよう付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。



もくじ

はじめに

| | |
|---------------------------|----|
| microSDカードのメンテナンス | 4 |
| フォーマットの準備 | 4 |
| 本機を単体で使用する場合 | 4 |
| 相互通信対応レーダーディテクターと接続している場合 | 4 |
| 相互通信対応レーダーディテクターとの接続 | 5 |
| 相互通信機能について | 5 |
| 準備 | 5 |
| レーダーディテクターとの接続 | 5 |
| レーダーディテクターの外部入力設定 | 6 |
| 設定の変更方法 | 7 |
| 再生モード | 8 |
| 相互通信時のパーキングモードについて | 9 |
| 取り付け方法 (相互通信) | 9 |
| 安全上の注意 | 10 |
| microSDカードについての取り扱い注意事項 | 12 |
| 使用上の注意 | 13 |
| 録画についての注意事項 | 13 |
| 取り付けについての注意事項 | 13 |
| パーキングモードについて | 13 |
| ディスプレイについて | 13 |
| DCコードについて | 14 |
| アイドリングストップ車での使用について | 14 |
| 専用ビューアソフトについて | 14 |
| カメラレンズの注意事項 | 14 |
| 本体/付属品 | 15 |
| 付属品 | 15 |
| オプション品 | 15 |
| 各部の名称と機能 | 16 |
| 本体 | 16 |
| 別体カメラ | 16 |

取り付けと準備

| | |
|----------------------|----|
| 取り付け方法 | 17 |
| フロントガラスに別体カメラを設置する場合 | 17 |
| 取り付け位置 (正面) | 17 |
| 取り付け位置 (側面) | 18 |
| 取り付け方法 | 18 |
| ダッシュボードに別体カメラを設置する場合 | 19 |
| 取り付け位置 (側面) | 19 |
| リアに別体カメラを設置する場合 | 20 |

| | |
|------------------------|----|
| 取り付け位置 (正面) | 20 |
| 取り付け位置 (側面) | 20 |
| 取り付け方法 | 20 |
| 本体の設置 | 21 |
| 取り付け位置 (側面) | 21 |
| 取り付け方法 | 21 |
| 本体と別体カメラを接続 | 22 |
| 接続方法 | 22 |
| 別体カメラの設定 | 22 |
| 配線処理 | 23 |
| ヒューズが切れた場合 | 23 |
| マウントベースから本体、別体カメラを取り外す | 23 |
| microSDカードの挿入および取り出し | 24 |
| microSDカードの挿入 | 24 |
| microSDカードの取り出し | 25 |

基本操作

| | |
|----------------|----|
| 製品の使用方法 | 26 |
| 電源のON/OFF | 26 |
| SDカードのフォーマット案内 | 26 |
| エラーメッセージ | 26 |
| ディスプレイ | 28 |
| 録画方法 | 29 |
| 録画モードについて | 29 |
| クイック録画機能 (手動) | 30 |
| 撮影機能 (手動) | 30 |

各種設定

| | |
|-----------------------------|----|
| 各種設定の変更 | 31 |
| 設定の変更方法 (例: アイコン表示) | 31 |
| 設定一覧 | 32 |
| 画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧 | 34 |
| 画像モード設定「標準/高画質/長時間」時、設定内容一覧 | 34 |
| 3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧 | 34 |
| 画像モード設定 | 35 |
| その他の機能 | 36 |
| 再生モード | 36 |
| パーキングモードについて | 37 |
| パーキングモードの動作 | 38 |
| 外部モニター表示 | 39 |

日時の設定 40

システムリセットと強制初期化 41

 システムリセット 41

 強制初期化 41

フォーマット 42

音量調整 43

HDR機能について 43

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて... 44

 専用ビューアソフトの動作環境 44

困ったときは

故障かな？と思ったら..... 45

その他

製品の仕様..... 46

microSDカードのデータについて ... 48

アフターサービス

アフターサービスについて..... 49

 修理に関して 49

 修理受付票 50

 保証書 裏表紙

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

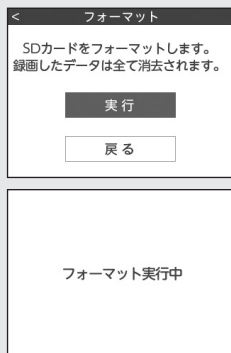
microSDカードのメンテナンス

microSDカードに保存されたデータはバックアップして、定期的に本体にてフォーマット（推奨：週1回）して使用してください。外部環境、または長時間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。

フォーマットの準備

付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

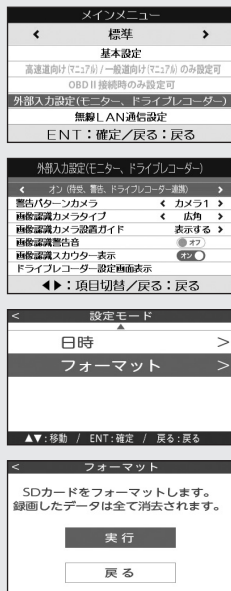
本機を単体で使用する場合



- 1 本機の動作中に**Bボタン**を長押し（10秒）する。
- 2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【**実行**】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。
【戻る】：通常録画に戻る
- 3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【**実行**】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。
【戻る】：「フォーマット」画面に戻る

相互通信対応レーザーディテクターと接続している場合

レーザーディテクターの画面でリモコン操作をおこないます。この時、本機のボタンでは操作することはできません。



- 1 **ENTボタン**を押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」を選び、**ENTボタン**を押す。
- 2 ▼▲**ボタン**を押して「ドライブレコーダー設定画面表示」を選び、**ENTボタン**を押す。
- 3 ▼▲**ボタン**を押して「フォーマット」に移動し、**ENTボタン**を押す。
- 4 **ENTボタン**を押して、フォーマットを実行する。確認の画面が表示したら、再度、**ENTボタン**を押す。
ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示されます。フォーマット完了後、自動的に常時録画に戻る。

相互通信対応レーダーディテクターとの接続

相互通信機能について

本機と当社製相互通信対応レーダーディテクターを当社製レーダーディテクター相互通信コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像をレーダーディテクターの画面に表示させることができ、レーダーディテクターのリモコンから操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBD IIの速度データもレーダーディテクターより供給され、操作音もレーダーディテクターから出力されます。

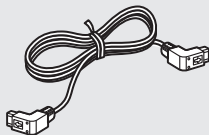
* 撮影モードは、相互通信時は使用できません。

* レーダーディテクターのGPSから録画データに日時情報を入力できません。必ず本機の日時を設定してください。

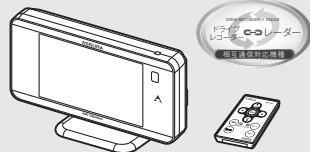
準備

本機能を使用するには、当社製相互通信対応レーダーディテクターと当社製レーダーディテクター相互通信コードが必要です。

- レーダーディテクター相互通信コード
- 当社製相互通信対応レーダーディテクター



※レーダーディテクター本体のイラストは、モデルにより異なります。



本機と相互通信対応レーダーディテクターとの組み合わせによりオプションの接続コードが異なります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

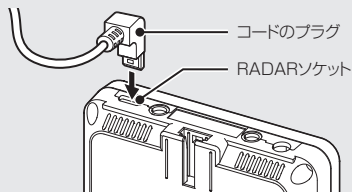
<http://www.cellstar.co.jp>

注意

- ・セルスター製ドライブレコーダー専用レーダーディテクター相互通信コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- ・レーダーディテクター相互通信コードは12V車専用です。レーダーディテクターを24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- ・レーダーディテクター相互通信コードを改造し使用すると、レーダーディテクターやドライブレコーダーの故障の原因となります。
- ・レーダーディテクター相互通信コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

レーダーディテクターとの接続

- 1 レーダーディテクターのDCコードを外し、レーダーディテクター本体の電源をOFFにする。
- 2 レーダーディテクター相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



・プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。

・相互通信コードのプラグをドライブレコーダーのRADARソケット、レーダーディテクターの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

はじめて

取り付けと準備

基本操作

各種設定

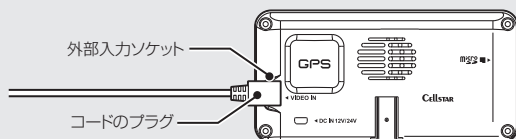
困ったときは

その他

サブタイ

相互通信対応レーダーディテクターとの接続（つづき）

- 3 レーダーディテクター相互通信用コードのプラグをレーダーディテクターの外部入力ソケットに差し込む。



※レーダーディテクター本体のイラストは、モデルにより異なります。

- 4 レーダーディテクターのDCコードを差し込み、レーダーディテクター本体の電源をONにする。

* レーダーディテクターから電源が供給されるため、起動に時間がかかる場合があります。

レーダーディテクターの外部入力設定

本機はレーダーディテクター相互通信用コードでレーダーディテクターと接続した場合、レーダーディテクターの画面でリモコン操作をおこないます。この時、本機のボタンでは操作することはできません。ご注意ください。

| メインメニュー | |
|---------|------------------------------|
| ← | 標準 |
| | 基本設定 |
| | 高速道向け(モニ7分)/一般道向け(モニ7分)のみ設定可 |
| | OBD II接続時のみ設定可 |
| | 外部入力設定(モニター、ドライブレコーダー) |
| | 無線LAN通信設定 |
| | ENT: 確定/戻る: 戻る |

- 1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定(モニター、ドライブレコーダー)」を選び、ENTボタンを押す。

| 外部入力設定(モニター、ドライブレコーダー) | |
|------------------------|-----------------------|
| ← | オン(待受、警告、ドライブレコーダー連携) |
| | 警告ボタンカメラ |
| | 画像認識カメラタイプ |
| | 画像認識カメラ設置ガイド |
| | 画像認識警告音 |
| | 画像認識スクーター表示 |
| | ドライブレコーダー設定画面表示 |
| | ◀▶: 項目切替/戻る: 戻る |

- 2 ◀▶ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す。

・オン(待受/警告/ドライブレコーダー連携)

相互通信機能をオンにします。待受画面を「カメラ」または「カメラ&フルマップ」に設定すると、本機のカメラ映像をレーダーディテクターの画面に表示され、本機のディスプレイはオフになります。

・オン(モニター)

相互通信する場合は選択しないでください。

- * モニター中は、リモコン操作ができません。終了するには、戻るボタンを押してください。

・オフ

相互通信機能をオフにします。(工場出荷時の初期設定)

⚠ 注意

- ・レーダーディテクター相互通信用コードで本機とレーダーディテクターを接続し、レーダーディテクターのリモコンで電源をON/OFFしても、本機の電源は運動せず、供給し続けます。
- ・レーダーディテクターの電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、本機が再起動します。
- ・レーダーディテクターの電源をリモコンでOFFにすると、本機へのGPS情報の供給がOFFになります。

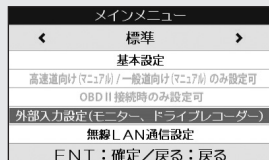
設定の変更方法

各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

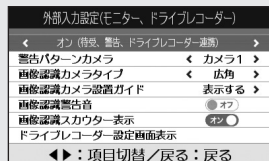
専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。



1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」を選び、ENTボタンを押す。



2 ▼▲ボタンを押して「ドライブレコーダー設定画面表示」を選び、ENTボタンを押す。



3 ▼▲ボタンを押して変更したい設定項目に移動し、ENTボタンを押す。



4 ▼▲ボタンを押して設定内容を変更し、ENTボタンを押す。



5 引き続き他の設定を変更する場合は、戻るボタンを押してメインメニューに戻り、▼▲ボタンを押して設定メニューを選ぶ。

設定を終了してメインメニュー画面または通常画面に戻る場合は戻るボタンを押します。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブメニュー

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

正しい記録ができるように、レーダーディテクター上のドライブレコーダーの設定にて、現在の日付および時間を設定してください。設定方法は40ページ「日時の設定」をご覧ください。

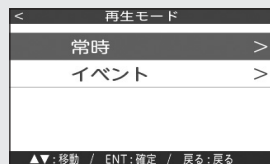
再生モード

本機で記録した映像は、レーダーディテクターで再生できます。

* 再生モード中は、録画はできません。



1 ドライブレコーダー設定画面表示から、「再生モード」に移動し、**ENTボタン**を押す。



2 **【常時】** または **【イベント】** を選択する。

「再生ファイル」画面に切り替わります。

【戻る】 : 「再生モード」画面に戻る



3 **ファイル**を選択する。

レーダーディテクターのディスプレイで再生が開始されます。再生ファイルが多い場合は、▲▼ボタンを押して、ページをスクロールさせます。

再生中にENTボタン : 「再生ファイル」画面に戻る

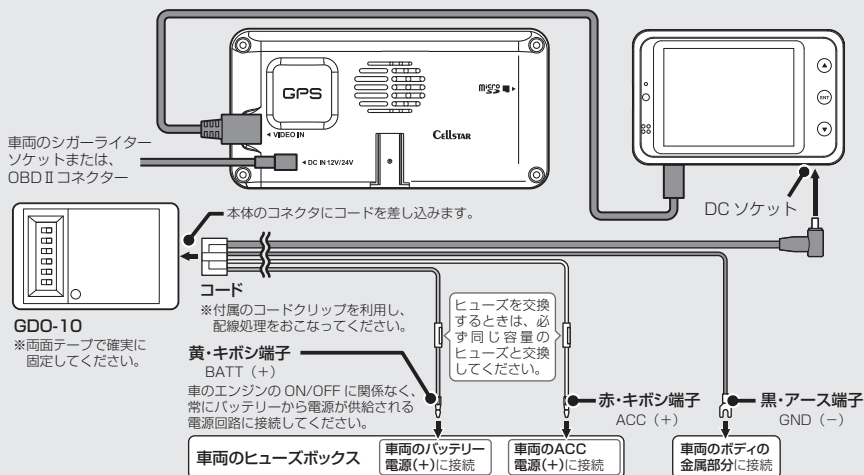
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

相互通信時のパーキングモードについて

エンジンがOFFになり、レーダーディテクターから電源の供給がなくなると、GDO-10によって車両バッテリーからの電源供給に切り替わります。また、レーダーディテクターからGPS情報の供給もオフになります。

取り付け方法（相互通信）

レーダーディテクター相互通信用コードで本機とレーダーディテクターを接続した状態で、本機のDCソケットにGDO-10を接続します。



パーキングモードの設定方法はP7、P37-38を参照してください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。

警告



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。

* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

警告

- !** 別体カメラは、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、別体カメラがガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- !** 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。





















注意

- !** 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- !** 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- !** オプションの GPS ユニットの近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- !** GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。(オプションの GPS ユニットが必要)
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- !** フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。(オプションの GPS ユニットが必要)
- !** トンネル入出時のように急に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- !** 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- !** ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- !** 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置 (推奨取付位置) に装着してください。
- !** LED 方式の信号機では画面がちらつく (フリッカー) ことがあります。
- !** 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- !** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- !** 気温の低いところから高いところへ本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的に本体にてフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、当社は一切の責任を負いません。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
 - * 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。
 - * 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - * 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
 - * 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
 - * カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
 - * microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
 - * microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - * microSD カードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - * microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
 - * microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
 - * microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
 - * 8GB ~ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨）
 - * 64GB（クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス：UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨）
 - * 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプやディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P11参照）にしたがって、正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。

パーキングモードについて

- パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10）を使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。

ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起る可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

DCコードについて

- 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>）

カメラレンズの注意事項

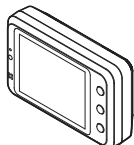
- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



ドライブレコーダー本体



別体カメラ



マウントベース×2



ボールジョイント
(本体用)



ボールジョイント×2
(ダッシュボード用)



両面テープ(透明)×2
(ガラス用)



両面テープ(グレー)×2
(ダッシュボード用)



脱脂クリーナー



カメラ接続コード
(9.0m)



DCコード
(3極DCプラグ)

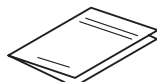


microSDカード
(専用ビューアソフト入り)

* SDカード変換アダプタ、
SDカードケース付属



コードクリップ×5



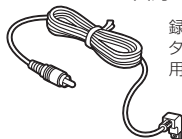
取扱説明書(本書)

オプション品

別途お買い求めください。

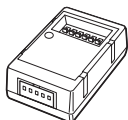
ドライブレコーダー用

●GDO-09 ビデオ出力コード



録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P39 参照)

●GDO-10 常時電源コード(3極DCプラグ)



パーキングモード機能を利用する場合に使用します。
最大 12 時間まで電源を供給します。(P37、P38 参照)

●GDO-13 GPSユニット



●GDO-15 直結配線用DCコード(3極DCプラグ)



レーダーディテクター接続用

●レーダーディテクター相互通信コード



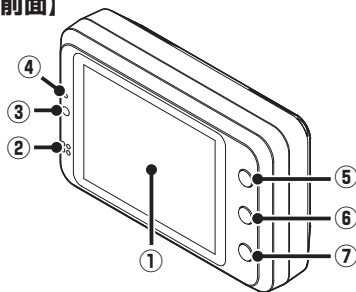
詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

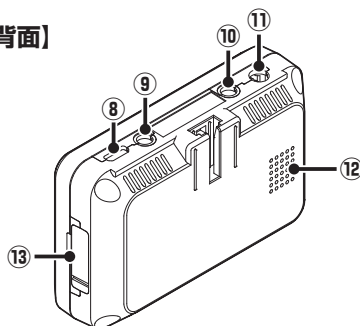
各部の名称と機能

本体

〔前面〕



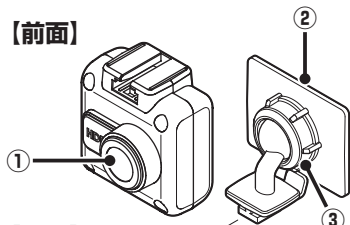
〔背面〕



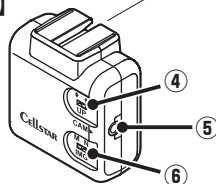
- ① ディスプレイ**
カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示します。
- ② マイク**
映像記録中の音声を録音します。
- ③ LEDランプ**
本機の動作状態を表示します。
- ④ リセットボタン**
本機を再起動します。
- ⑤ Aボタン (▲)**
カーソルの上移動、音量の調整をおこないます。
*本機反転時、C ボタンの動作となります。
- ⑥ Bボタン (ENT)**
モード切り替えカーソルの決定と戻る、フォーマットの操作をおこないます。
- ⑦ Cボタン (▼)**
カーソルの下移動、クイック録画、撮影をおこないます。
*本機反転時、A ボタンの動作となります。
- ⑧ RADARソケット (相互通信端子)**
当社製レーダーデテクター相互通信コードまたはビデオ出力コード (GDO-09) を接続します。
- ⑨ GPS (GPS接続端子)**
オプションの GPS ユニット (GDO-13) を接続します。
- ⑩ CAM (カメラ接続端子)**
カメラ接続コードで別体カメラを接続します。
- ⑪ DC12V/24Vソケット**
専用のDCコード(3極DCプラグ)を接続し、DC12V/24Vを本機に入力します。
- ⑫ スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ⑬ microSDカードスロット**
付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

別体カメラ

〔前面〕



〔背面〕



- ① 撮影用カメラレンズ**
*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。
- ② マウントベース**
付属の両面テープでフロントガラスなどに取り付けます。
*ダッシュボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (ダッシュボード用) に交換してから取り付けてください。
- ③ 角度調整ノブ**
別体カメラの取り付け角度を調整します。
- ④ 上下切り替えスイッチ**
カメラ映像の上下反転時に使用します。
- ⑤ CAM (カメラ接続端子)**
カメラ接続コードで本体に接続します。
- ⑥ 正像鏡像切り替えスイッチ**
カメラ映像の左右反転時に使用します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 別体カメラを設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

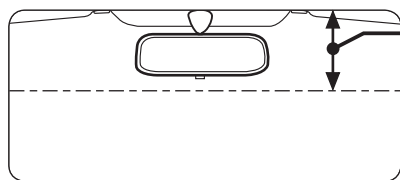
⚠ 警告

事故発生時の衝撃により別体カメラが外れる場合がございます。ガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。

フロントガラスに別体カメラを設置する場合

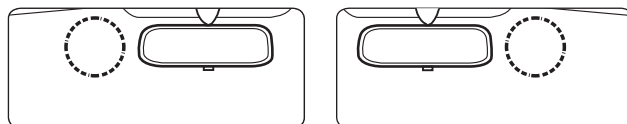
取り付け位置（正面）

フロントガラス



フロントガラス上部から
フロントガラス全体の20%
以内に取り付けてください。

ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

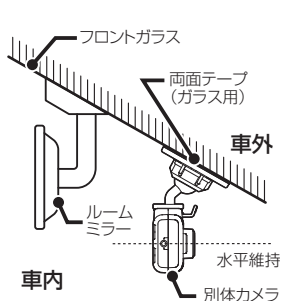
困ったときは

その他

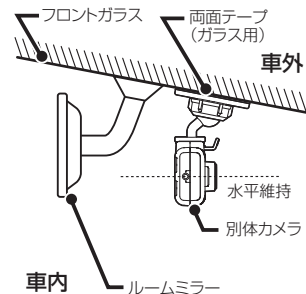
サブタイ
プス

取り付け位置（側面）

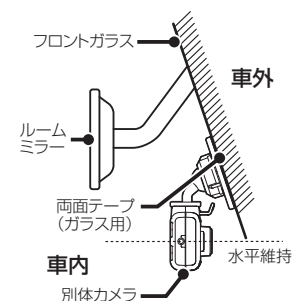
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



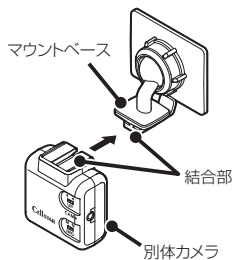
■ ワンボックスやトラックなど



- ・ 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・ 別体カメラが取り付けいた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

取り付け方法

- 1 マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

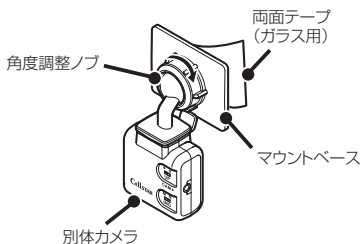


- 2 両面テープ（ガラス用）を使用して別体カメラを設置する場所に取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して別体カメラを固定する。

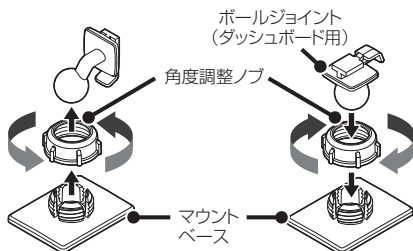
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。

ダッシュボードに別体カメラを設置する場合

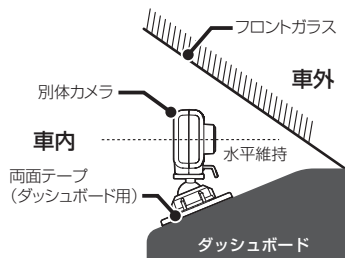
マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント（ダッシュボード用）に付け替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置（側面）

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。



* 上下切り替えスイッチでカメラ映像を反転してください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

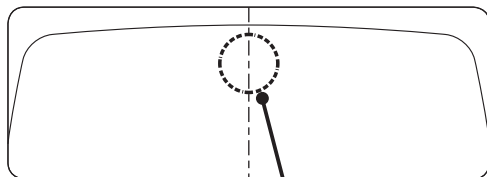
リアに別体カメラを設置する場合

* リアのダッシュボードに設置することもできます。

取り付け位置（正面）

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。

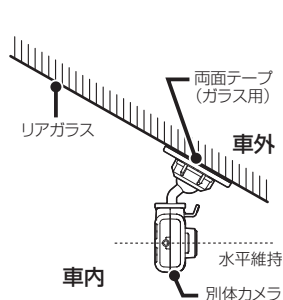
リアガラス



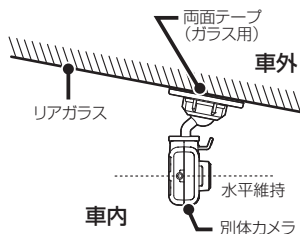
リアガラスの中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

取り付け位置（側面）

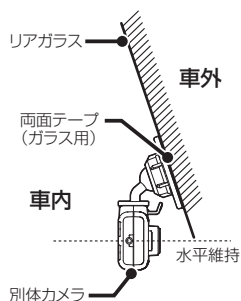
■ 一般的な乗用車



■ リアガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付けられた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リアガラスの熱線が映像の邪魔となる場合があります。

取り付け方法

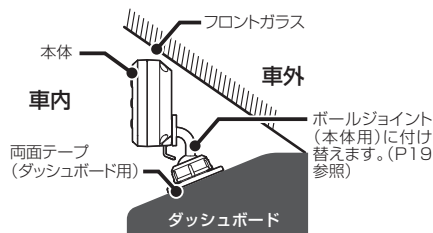
P18の取り付け方法を参照し、取り付けてください。

本体の設置

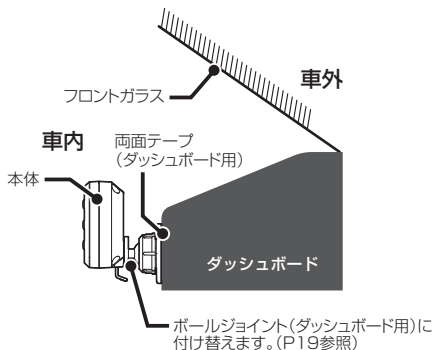
取り付け位置 (側面)

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

■ ダッシュボード上面に設置する場合

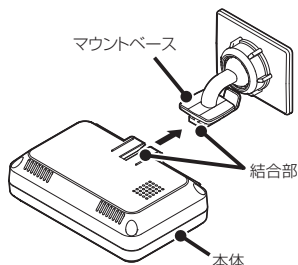


■ ダッシュボード正面に設置する場合



取り付け方法

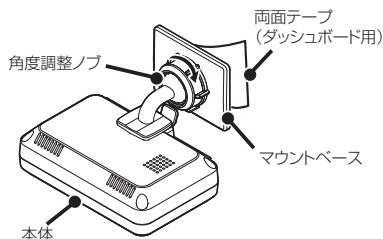
- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



- 2 両面テープ (ダッシュボード用) を使用して本体を設置する場所に取り付ける。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

- 4 DCソケットにDCプラグを接続する

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

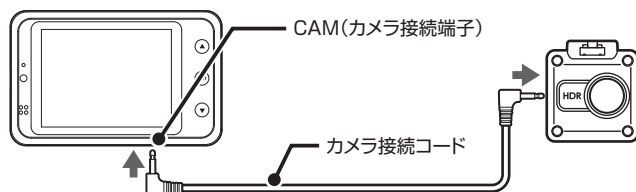
その他

アフターサービス

本体と別体カメラを接続

接続方法

付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



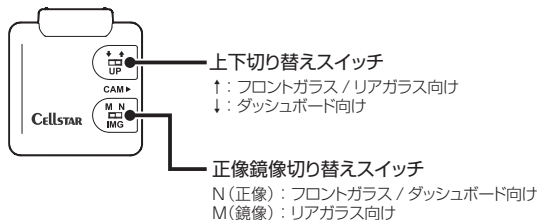
注意

- カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

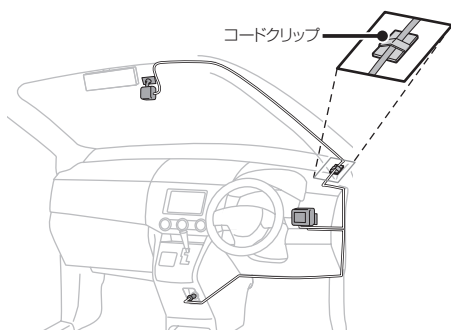
■ 推奨設定



配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

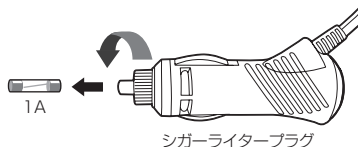


注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

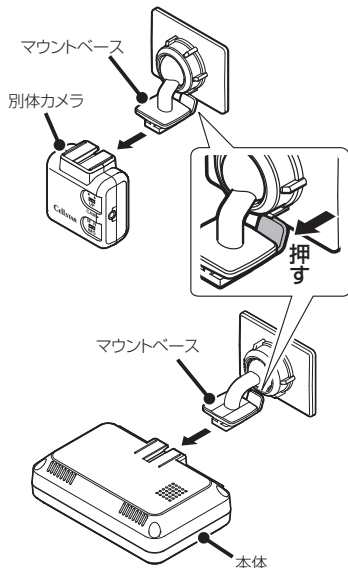
ヒューズが切れた場合

ヒューズ (1A) を交換します。



マウントベースから本体、別体カメラを取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体または別体カメラを矢印の方向に引き外します。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し

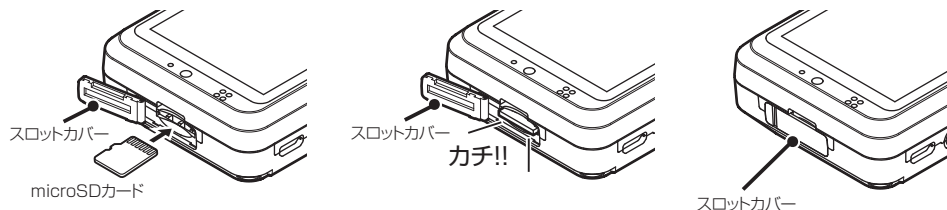
⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機からDCプラグを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- microSDカードを入れ替えると、本機の設定が工場出荷時の状態になります。

microSDカードの挿入

* 必ず、本機からDCプラグを外し、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



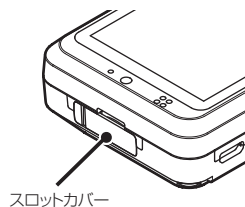
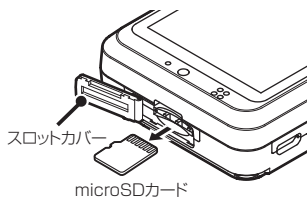
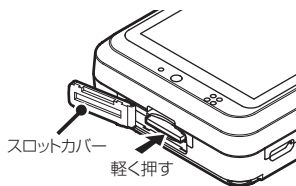
- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

* 必ず、本体のLEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF

CELLSTAR®

■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

電源が投入されると、LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、カメラ映像が表示されます。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフしてください。(P32参照)
- * 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- * 電源をONにした時に画面の向きを自動的に反転して調整します。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

SDカードのフォーマット案内

microSDカードを一定期間、フォーマットをしていなかった場合、本機の起動時に1回、効果音が鳴り、「SDカードは定期的にフォーマットしてください。」とボイスでお知らせします。必要に応じて、microSDカードをバックアップし、フォーマットしてください。(P42参照)

エラーメッセージ

SDカード認識エラー
SDカードが [挿入されていない]
[フォーマットされていない]
[破損している]
などの異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示した場合は、microSDカードを挿入し直し (P24、25参照)、またはフォーマットをおこなってください。(P42参照)

SDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っています。
フォーマットしますか？
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

実行

■ microSDカードファイルシステムエラー

microSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っている場合、本機のディスプレイに次のようなエラーが表示し、フォーマットの確認をおこないます。

カメラに異常があります。
カスタマーサービスまで
ご連絡ください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- * ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、取り付け方法（P17～23参照）を確認してから、本機を再起動してください。

カメラエラー
カメラの接続を確認してください。

■ カメラエラー

カメラの接続エラーなどが発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り「カメラが接続されていません。」とボイスでお知らせし、本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

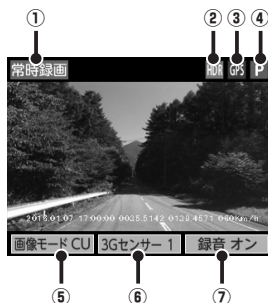
- * ディスプレイに「カメラエラー」を表示した場合は、取り付け方法（P17～23参照）を確認してから、本機を再起動してください。

ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

操作ボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

* 再生する場合は「再生モード」(P36参照)、設定メニューの変更は「設定の変更方法」(P31～33参照)をご覧ください。



■ 画面アイコンの種類

| アイコン | | 内容 |
|-------------|----------|--------------------|
| ① 録画モード | 常時録画 | 録画モードの状態を表示します。 |
| ② HDR | HDR | HDR 設定がオンの時に表示します。 |
| ③ GPS | GPS | GPS を測位すると表示します。 |
| ④ パーキングモード | ▶ | パーキングモードの状態を表示します。 |
| ⑤ 画像モード | 画像モード CU | 画像モード設定の状態を表示します。 |
| ⑥ 3G センサー感度 | 3Gセンサー 5 | 感度センサーの設定状態を表示します。 |
| ⑦ 音声録音 | 録音 オン | 音声録音のオン/オフを表示します。 |

- * 左の画面は、オプションのGPSユニット (GDO-13) 接続時のものです。
- * 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできます。(P32参照)
- * インポーズ表示記録をオンにすると、映像の上に重ねて現在の日時情報、オプションのGPSユニット (GDO-13) を接続すると、現在地の緯度経度、走行速度を表示、録画できます (P33参照)
- * インポーズ表示の内容はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。



設定メニューの「画面表示」を時計にするとデジタル時計を表示します。

お買い求めただいて、初めてお使いになる場合

正しい記録ができるように、あらかじめ本機に現在の日付および時間を設定してください。設定方法は40ページ「日時の設定」をご覧ください。

* オプションのGPSユニット (GDO-13) 接続時は、GPSより日時を取得するため、日時の設定はできません。

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面のアイコンで確認できます。(P28参照)

* 記録中の音声録音しない場合、「音声録音」をオフにしてください。(P32参照)

常時録画モードとイベント録画モード

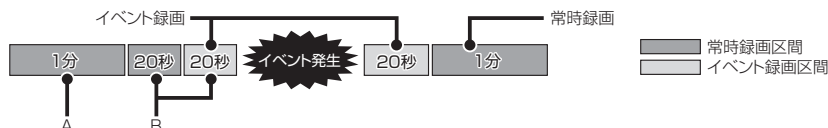
■ 常時録画モード

LEDが点滅し、1分単位で録画し続けます。



■ イベント録画モード

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、常時録画を中断して、効果音とLEDが点滅（速い）し、イベント録画ファイル（1回最大2ファイル）を生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



B区間の録画時間が20秒未満の場合、Aの常時録画（60秒）を含めた録画時間がイベント録画となります。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P32参照)」で調整することができます。
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の70%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。
- * 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、削除した番号をスキップして映像ファイルに番号が付加されます。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。

microSDカードの保存先とファイル名について

| 録画モード | 保存フォルダ名 | ファイル名 | 最大保存容量 |
|-----------|----------|-------------------------|---|
| 常時録画モード | INFINITE | 通常時 : NNF_****.avi | microSDカード総容量の70% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます) |
| | | パーキングモード : PNF_****.avi | |
| イベント録画モード | EVENT | 通常時 : NEF_****.avi | microSDカード総容量の20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます) |
| | | パーキングモード : PEF_****.avi | |

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- 1 本機の動作中に**Cボタン**を押す。
効果音とLED点滅（速い）し、イベント録画をおこないます。



撮影機能（手動）

録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。撮影した画像は100枚（約35MB）までです。

- * 100枚を超えると古い画像から自動的に削除されます。
- * レーダーディテクターとの相互通信時、撮影モードは使用できません。

- 1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。



- 2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【**撮影モード**】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。



- 3 **Cボタン**を押し、表示している映像を撮影する。



各種設定の変更

設定の変更方法 (例：アイコン表示)

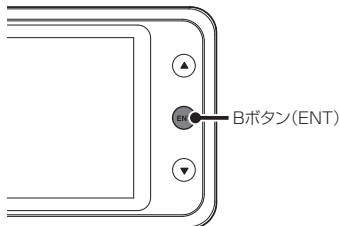
32～34ページの各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

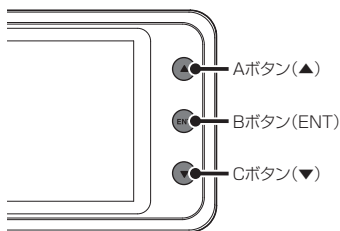
* 設定中は、録画はできません。

設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

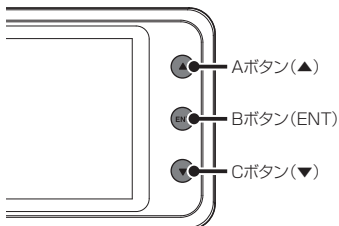
1 本機の動作中にBボタンを押す。



2 AボタンまたはCボタンを押して【設定モード】に移動し、Bボタンを押して確定する。

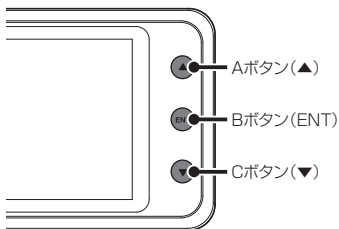


3 AボタンまたはCボタンを押して変更する設定項目を選び、Bボタンを押して確定する。



4 引き続き他の設定を変更する場合は、Bボタンを長押しして設定モードに戻り、AボタンまたはCボタンを押して設定メニューを選ぶ。

設定を終了して通常画面に戻る場合は、【録画モード】を選択します。



<例>
設定項目から「アイコン表示」でオンを選んだ場合

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

ソフトウェア

設定一覧

* 設定値は初期設定のものです。

* の部分は、レーダーディテクターとの相互通信時は設定できません。

| メインメニュー | 設定値 | 設定内容 | |
|-----------|-----|---|---|
| | | カスタム | : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。(P34 参照) 設定方法は、35 ページを参照してください。 |
| 画像モード設定 | 高画質 | 標準 高画質 長時間 | : 録画画質を標準的な設定にします。 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 |
| HDR 設定 | オン | オン オフ | : HDR 合成をおこないます。 : HDR 合成をおこないません。 |
| 音量調整 | 2 | 3 2 1 0 | : 音量を (大) にします。 : 音量を (中) にします。 : 音量を (小) にします。(P43参照) : 音量を (無) にします。 |
| 音声録音 | オン | オン オフ | : 音声録音をおこないます。 : 音声録音をおこないません。 |
| 3G センサー感度 | 5 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 | : 3G センサーを高感度に設定します。 ↓ : 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。(P34 参照) |
| 画面明るさ | 3 | 4 3 2 1 | : ディスプレイの輝度を最大にします。 ↓ : ディスプレイの輝度を最小にします。 |
| ディマー | オン | オン オフ | : ディマー機能を設定します。 : ディマー機能を設定しません。 |
| ボイス | オン | オン オフ | : 音声案内をおこないます。 : 音声案内をおこないません。 |
| カメラズーム | オフ | オフ 2 倍 4 倍 | : 等倍で録画します。 : 2 倍拡大で録画します。 : 4 倍拡大で録画します。 |
| 画面表示 | オン | オン オフ 時計 | : カメラ映像を表示します。 : 画面表示しません。 : ディスプレイに時計を表示します。 |
| アイコン表示 | オン | オン オフ | : ディスプレイにアイコンを表示します。 : ディスプレイにアイコンを表示しません。 |

設定一覧（つづき）

* 設定値は初期設定のものです。

* の部分は、GDO-10接続時のみ設定項目が表示されます。

| メインメニュー | 設定値 | 設定内容 |
|---------------|---------|---|
| インポーズ表示・記録 | オン | オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録します。 |
| | | オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録しません。 |
| V-OUT (ビデオ出力) | オフ | オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 |
| | | オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。 * 外部モニターなどへの接続方法は、39ページを参照してください。 |
| 録画モード | 常時+イベント | 常時 : 常時録画 (1分単位) します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。 |
| パーキングモード | オフ | オン 常時 : 常時録画 (1分単位) します。 オン 常時+イベント : 常時+イベント録画します。 オフ : パーキングモードをおこないません。 |
| パーキングモード感度 | 5 | 10 : パーキングモード中のイベント録画の3Gセンサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の3Gセンサーを低感度に設定します。 |
| 位置情報取得 | オン | オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。 |
| 日時 | — | 日時情報を変更します。 |
| フォーマット | — | フォーマットの操作方法は、42ページを参照してください。 |

* ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイが暗くなります。

* 位置情報取得を「オフ」にするとインポーズ表示・記録は、日時情報のみとなります。

* 位置情報取得は、オプションのGPSユニット (GDO-13) 接続時、または相互通信接続時のみ設定項目が表示されます。

* 日時は、オプションのGPSユニット (GDO-13) 接続時、GPSから日時情報を取得するため、設定項目は表示されません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サ
ー
ビ
ス

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

設定内容をお好みで変更できます。

* 設定値は初期設定のものです。

| カスタム | 設定値 | 設定内容 |
|--------|-----|---|
| 画像 | FHD | FHD : 録画画像をFullHD（1920×1080）サイズに設定します。 HD : 録画画像をHD（1280×720）サイズに設定します。 D1 : 録画画像をD1（720×480）サイズに設定します。 |
| 画質 | 高 | 高 : 録画画質を高画質に設定します。 標準 : 録画画質を標準画質に設定します。 低 : 録画画質を低画質に設定します。 |
| 明るさ | 中 | 明 : 録画画像の輝度を最大（明るく）に設定します。 中 : 録画画像の輝度を標準に設定します。 暗 : 録画画像の輝度を最小（暗く）に設定します。 |
| コントラスト | 中 | 高 : 録画画像のコントラストを最大に設定します。 中 : 録画画像のコントラストを標準に設定します。 低 : 録画画像のコントラストを最小に設定します。 |

* **Bボタン**を長押しすると1つ前のメニューに戻ります。

画像モード設定「標準/高画質/長時間」時、設定内容一覧

設定内容は変更できません。

| 設定内容 | 画像モード設定 | | |
|--------|---------|-----|-----|
| | 標準 | 高画質 | 長時間 |
| 画像 | HD | FHD | D1 |
| 画質 | 標準 | 高 | 低 |
| 明るさ | 中 | 中 | 中 |
| コントラスト | 中 | 中 | 中 |

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

設定内容をお好みで変更できます。

| カスタム | 設定値 | 設定内容 | |
|------|-----------------------|------------------------|---|
| 前後 | 5 | 10 : 3Gセンサーを高感度に設定します。 | |
| 左右 | | 9 | ↓ |
| | | 8 | |
| | | 7 | |
| | | 6 | |
| | | 5 | |
| | | 4 | |
| | | 3 | |
| | | 2 | |
| 上下 | | 1 : 3Gセンサーを低感度に設定します。 | |
| | オフ : 3Gセンサーをオフに設定します。 | | |

* **Bボタン**を長押しすると1つ前のメニューに戻ります。

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。



1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。

2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【設定モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。

3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【画像モード設定】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。

「画像モード設定」画面に切り替わります。



4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して設定したい画像モードを選択し、**Bボタン**を押して確定する。

「標準/高画質/長時間」を選んだ場合は、手順終了です。

「カスタム」を選んだ場合は、手順4へ。



5 **Aボタン**または**Cボタン**を押して設定したい設定項目に移動し、**Bボタン**を押して確定する。(例：明るさ)



6 **Aボタン**または**Cボタン**を押して変更する設定内容を選択し、**Bボタン**を押して確定する。(例：明)

7 引き続き他の設定項目を変更する場合は、手順4から手順5の操作をおこなってください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
スー

その他の機能

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

- * 再生モード中は、録画できません。
- * 外部モニターやレーザーディテクターで再生することはできません。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。



2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【再生モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。
「再生モード」画面に切り替わります。



3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【常時】または【イベント】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。
「再生ファイル」画面に切り替わります。
Bボタンを長押しすると再生モードを終了します。



4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して再生したいファイルを選択し、**Bボタン**を押して確定する。

本機のディスプレイで再生が開始されます。
再生ファイルが多い場合は、本体側面の【**Aボタン**】または【**Cボタン**】を押し、ページをスクロールさせます。

再生中に**Bボタン**を押す：「再生ファイル」画面に戻る

- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * 再生中に**Bボタン**を押すとファイル選択画面に戻ります。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

パーキングモードについて

オプションの常時電源コード（GDO-10）を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。

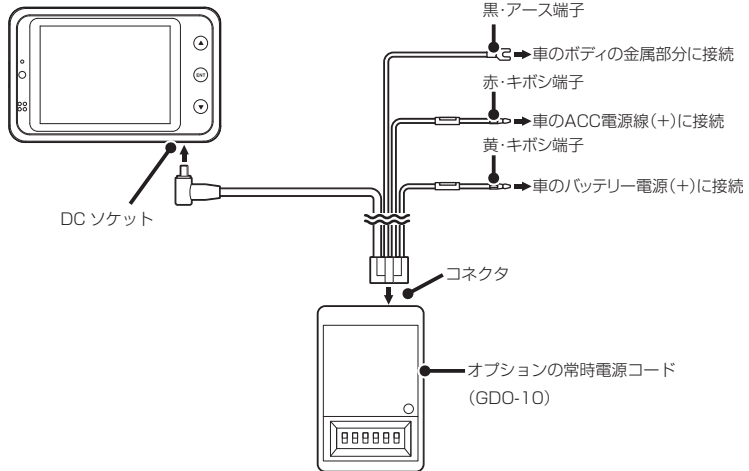
録画方式は常時録画（1分単位連続）、常時録画+イベント録画から選択できます。

パーキングモードは、エンジンを停止しACCがOFFになってから約6秒後に作動します。（画面が消え、LEDが遅く点滅します。）エンジンを始動し、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

警告

- パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10）を使用してください。直接配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態ではパーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コード（GDO-10）の時間設定を「0時間」にしてください。
- パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- オプションの常時電源コード（GDO-05）は使用できません。

■ 取り付け方法

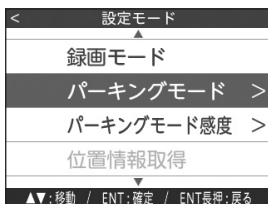


- * オプションの常時電源コード（GDO-10）に付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。
- * 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。

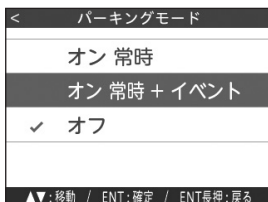
パーキングモードの録画仕様について

| | |
|--------|----|
| 画像 | D1 |
| 画質 | 低 |
| 明るさ | 中 |
| コントラスト | 中 |
| GPS | オフ |

- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コード（GDO-10）のディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。



- 1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。
- 2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【設定モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。
- 3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【パーキングモード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。



- 4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して録画モードを選択し、**Bボタン**を押して確定する。

* 録画モードはP29参照。



パーキングモードがオンになると、画面に「P」のアイコンを黄色で表示します。

パーキングモードの動作

エンジンを停止し、ACCがOFFになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、LEDが遅く点滅します。

- ・パーキングモードの動作中、Cボタンを押すと、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。
- ・パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

パーキングモードを解除した際に「イベント録画ファイルがあります。」と音声出力し、「P」のアイコンを赤色で表示します。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度に調整してください。

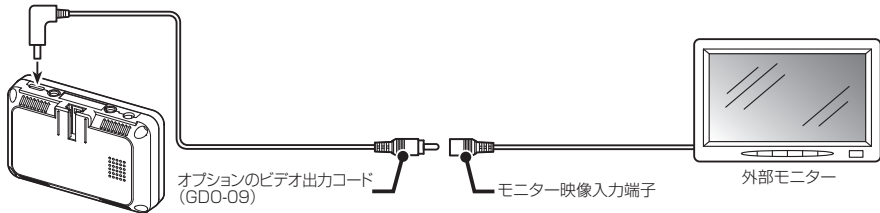
外部モニター表示

オプションのGDO-09で本体と外部モニターを接続すると、ディスプレイの映像が外部モニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

⚠ 注意

・外部モニターなどに本機で記録した映像を再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

■ 外部モニターとの接続



- * ディスプレイに戻す場合は、Bボタンを押してください。オプションのビデオ出力コード（GDO-09）を外しても自動で切り替わりません。
- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-09）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時映像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

日時の設定

日付および時間を設定することができます。

* 設定中は、録画できません。

⚠ 注意

- 正しく日時を設定しないと、ディマラー機能は動作しません。
- 初めて動作した時や長時間動作していなかった場合は、再度設定が必要です。
- オプションのGPSユニット（GDO-13）接続時、GPSより日時を取得するため、日時の設定はできません。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。

2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【設定モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。

3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【日時】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。

4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して現在の日付および時間を入力する。

A/Cボタン : 選択した日時のアップダウン

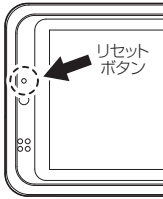
Bボタン : 設定した日時の確定、移動



システムリセットと強制初期化

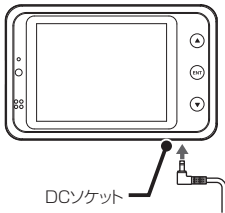
本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

システムリセット



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされ、再起動します。

強制初期化



- 1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 **Aボタン**を押しながらDCコードのプラグを接続する。
microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

はじめに

取り付けと
準備基本
操作各種
設定

困ったときは

その他

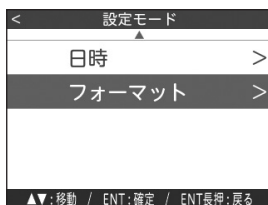
アフター
サービス

フォーマット

⚠ 注意

- この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。
- microSDカード内の録画したデータが破損した際、製品本体で異常状態を確認できない場合があります。定期的（1週間に1回を推奨）にmicroSDカードをフォーマットしてください。
- フォーマットは必ず本体にておこない、本体以外でのフォーマットは絶対におこなわないでください。

1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。



2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【設定モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。

3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【フォーマット】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。



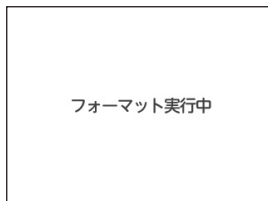
4 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【実行】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。

【戻る】：「設定モード」画面に戻る

* 常時録画中にBボタンを10秒長押しすることでもこの画面に移行できます。

5 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【実行】を選択し、**Bボタン**を押して確定する。

【戻る】：「フォーマット」画面に戻る



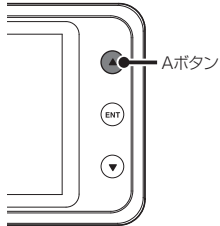
ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

✓ アドバイス

- 本機の動作中、Bボタンを長押しすると、フォーマット機能に移動します。

音量調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



- 1 本機の動作中に**Aボタン**を押す。
Aボタンを押す度に効果音が鳴り、音量が3→2→1→0→3の順で調整されます。

HDR機能について

本機はHDR（ハイダイナミックレンジ）による画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても、白とびや黒つぶれを低減して録画します。（初期値：オン）



- 1 本機の動作中に**Bボタン**を押す。
- 2 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【設定モード】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。
- 3 **Aボタン**または**Cボタン**を押して【HDR設定】に移動し、**Bボタン**を押して確定する。



- 4 **Aボタン**または**Cボタン**を押してHDR設定を選択し、**Bボタン**を押して確定する。

HDR：オフ



HDR：オン



⚠ 注意

- 映像の明るさを一定に保つ機能によりトンネルのように明るいところから暗いところへ移動した場合、映像の明るさが変化し、録画されることがあります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

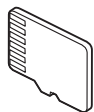
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows Vista / 7 / 8 / 10 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



付属の microSD カード

[viewer]

[setup.exe]

[専用ビューア説明書.pdf]

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。

専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

| 症状 | 考えられる原因 | 参照 |
|---|---|----------------|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。 | P21、P23 |
| | <ul style="list-style-type: none"> シガーライターソケットにタバココずが付着していませんか。付着している場合は、タバココずなどをきれいに拭きとってください。 | — |
| | <ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。 | P24 |
| 起動時間が長い | <ul style="list-style-type: none"> microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。 | P12 |
| 録画が開始されない | <ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSD カードをご使用ください。 | P12 P24-P25 |
| | <ul style="list-style-type: none"> microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 * microSD カードをフォーマットしてください。 | P42 |
| 急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう | <ul style="list-style-type: none"> 「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。 | P32 |
| ひんばんにイベント録画されるまたは録画されない | <ul style="list-style-type: none"> 「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。 | P32 |
| 画面を表示しない | <ul style="list-style-type: none"> 画面がオフになっていませんか。 | P32 |
| | <ul style="list-style-type: none"> V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。 | P33 |
| 再起動する | <ul style="list-style-type: none"> 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 | — |
| 欠落した番号の映像ファイルがある | <ul style="list-style-type: none"> SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、エラーデータの番号をスキップして映像ファイルに番号を付加します。 | P29 |
| 録画したデータと実際の走行状況が違う | <ul style="list-style-type: none"> オプションのGPSユニット（GDO-13）の接続時は日時、車両の走行速度、位置情報、レーダーディテクターとの相互通信時（OBD II未接続）は、車両の走行速度、位置情報をGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。 | — |
| パーキングモードを設定できない | <ul style="list-style-type: none"> 本機が常時電源コード（GDO-10）を認識していません。エンジンをかけなおしてください。 | — |

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
スー

製品の仕様

■TR-610の仕様

| | | |
|--------------|---------|---|
| 車外撮影用 カメラ | 撮像素子 | 200万画素 SONY Exmor CMOS センサー |
| | フレームレート | 30fps |
| | 視野角 | 水平 107°、垂直 56°、対角 130° |
| | F 値 | 2 |
| | 最低被写体照度 | 3LUX |
| 録画画素数 | | 200万画素 (FullHD) / 100万画素 (HD) / 35万画素 (D1) |
| 録画画質 | FullHD | 高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps) |
| | HD | 高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps) |
| | D1 | 高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps) |
| 録画画角 | FullHD | 水平 107°、垂直 56°、対角 130° |
| | HD | 水平 107°、垂直 56°、対角 130° |
| | D1 | 水平 80°、垂直 50°、対角 97.5° |
| 録画圧縮 | | 録画 AVI (H.264)、静止画 JPG |
| 録画トリガ | | 常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画 |
| GPS | | 無し |
| 3G センサー | | 有り (-2G から +2G 衝撃感度 10段階) |
| 対応外部記憶媒体 | | microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨) 64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス : UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨) |
| 記録データ | | 日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル * オプションのGPSユニット (GDO-13)、レーダーディテクターとの相互通信時のみ |
| 音声録音 | | 有り (オン、オフ設定可) |
| 外部映像出力 | | 有り (付属ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) * 再生時無し |
| 電源電圧 | | DC12V/24V |
| 動作温度範囲 | | -10℃ ~ +60℃ |
| サイズ | | 本体 : 80 (W) × 23 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時72 (H) mm カメラ : 35 (W) × 18 (D) × 35 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時65 (H) mm |
| 重量 | | 本体 : 66g カメラ : 21g |

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■撮影可能時間の目安

| 常時録画 / microSD カードの容量 | | 録画品質 | | |
|--------------------------|--------|----------|----------|----------|
| | | 高画質 | 標準 | 低画質 |
| 8GB | FullHD | 約 60 分 | 約 70 分 | 約 90 分 |
| | HD | 約 95 分 | 約 135 分 | 約 215 分 |
| | D1 | 約 290 分 | 約 370 分 | 約 505 分 |
| 16GB | FullHD | 約 120 分 | 約 145 分 | 約 180 分 |
| | HD | 約 195 分 | 約 270 分 | 約 430 分 |
| | D1 | 約 585 分 | 約 745 分 | 約 1015 分 |
| 32GB | FullHD | 約 245 分 | 約 295 分 | 約 365 分 |
| | HD | 約 390 分 | 約 545 分 | 約 860 分 |
| | D1 | 約 1175 分 | 約 1490 分 | 約 2035 分 |
| 64GB | FullHD | 約 495 分 | 約 595 分 | 約 730 分 |
| | HD | 約 785 分 | 約 1090 分 | 約 1720 分 |
| | D1 | 約 2355 分 | 約 2985 分 | 約 4070 分 |

| イベント録画 / microSD カードの容量 | | 録画品質 | | |
|----------------------------|--------|---------|---------|----------|
| | | 高画質 | 標準 | 低画質 |
| 8GB | FullHD | 約 15 分 | 約 20 分 | 約 25 分 |
| | HD | 約 25 分 | 約 35 分 | 約 60 分 |
| | D1 | 約 80 分 | 約 105 分 | 約 145 分 |
| 16GB | FullHD | 約 35 分 | 約 40 分 | 約 50 分 |
| | HD | 約 55 分 | 約 75 分 | 約 120 分 |
| | D1 | 約 165 分 | 約 210 分 | 約 290 分 |
| 32GB | FullHD | 約 70 分 | 約 85 分 | 約 100 分 |
| | HD | 約 110 分 | 約 155 分 | 約 245 分 |
| | D1 | 約 335 分 | 約 425 分 | 約 580 分 |
| 64GB | FullHD | 約 140 分 | 約 170 分 | 約 200 分 |
| | HD | 約 220 分 | 約 310 分 | 約 490 分 |
| | D1 | 約 670 分 | 約 850 分 | 約 1160 分 |

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画および音声（1回最大2ファイル）、クイック録画機能で録画した動画を保存します。（microSDカード全体容量の20%を使用）
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。（microSDカード全体容量の70%を使用）
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。100枚（約35MB）

■SDエラー監視機能について

録画実行中にSDエラーが発生するかを監視して、記録時にSDエラーをキャッチすると再起動後、自動的にエラーデータを削除します。

- * SDエラー監視機能でもファイルシステムを修復できない場合があります。定期的（1週間に1回を推奨）にmicroSDカードをフォーマットしてください。

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P50参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P50参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAX でご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P45参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P50参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

フリーダイヤル

【受付時間】 9：00～17：30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先 セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145
三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報には次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

修理受付票

製品名：TR-610

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

| | |
|----------------|--|
| お客様名： | ご住所：□□□□-□□□□□□□□ |
| ご自宅電話番号： | |
| FAX 番号： | |
| 日中で連絡可能な電話番号： | <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| ご購入日： | microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認 |
| 同梱した付属品：合計（ ）点 | ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。 |
| ① | 本項の内容について同意します。ご署名 |
| ② | お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 |
| ③ | ※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。 |
| ④ | 具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する |
| ⑤ | できるだけ詳しくご記入ください。 |
| ⑥ | |
| ⑦ | |
| ⑧ | |
| 修理品返却先 | ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。 |
| お客様名： | ご住所： |
| ご自宅電話番号： | |

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

各種
設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P50参照）も併せてご記入ください。

| | |
|-------------------|--|
| 製品名：TR-610 | お買い上げ年月日： 年 月 日 |
| 販売店様 ※必ず、ご記入ください。 | 保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効 |
| ご住所： | |
| お電話： | |
| | |

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外觀上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保管ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきましては、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願ひ 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルが

ご利用になれない場合：046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

- 北海道地区 北海道セルスター工業株式会社
〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225（代）/ FAX.011-881-7251
- 東北地区 セルスター工業（株）仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100（代）/ FAX.022-218-1110
- 関東地区 セルスター工業（株）本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100（代）/ FAX.046-273-1106
- セルスター工業（株）水戸出張所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911（代）/ FAX.029-255-1420

- 東海・北陸地区 セルスター工業（株）名古屋営業所
〒464-0025 愛知県名古屋市中千種区桜が丘295番地
第8オオタビル 4F
TEL.052-789-0099（代）/ FAX.052-789-1510
- 関西・中国・四国地区 セルスター工業（株）大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880（代）/ FAX.072-722-5575
- 九州地区 セルスター工業（株）福岡出張所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番 16号
TEL.092-588-1101（代）/ FAX.092-588-0057
- 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」——— <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社